

—スタッフ紹介—

役職	スタッフ名
センター長兼理事兼副病院長 兼血液内科主任部長兼薬剤部門長 兼薬剤管理センター長	鳥野 隆博
副センター長兼総合内科・感染症内科部長 兼感染症センター長兼院内感染対策室長 兼産業医	倭 正也
副センター長兼診療局長 兼心臓血管外科主任部長兼ICU/CCUセンター長 兼心臓・血管センター長兼医療安全管理室長	船津 俊宏
参事兼事務局経営企画総務監 兼事務局次長	木下 隆
主査	前田 廣明
	稻垣 紗菜
教育研修企画調整監	坂下 恵治

研修医2年次	研修医1年次
小山 拓也	堀部 朋哉
藤崎 佳乃	大橋 和佳子
パラマ ジヨン 賢一	花岡 憲晟
柳 尚吾	有吉 和範
原 マイケルシャノン	宮田 大道
	小淵 登生
	藤井 洋希
	小西 佐代子
	藤本 凜太郎

—概要—

2019年10月に前期研修、後期研修、医師の生涯研修をより充実したものとし、研修医、専攻医にとって魅力ある臨床研修プログラムの構築を行うことを目的に臨床研修センターを開設した。

これから臨床医は前期研修・後期研修での経験をもとに、多彩なキャリアパスの中から自分の目指した医師像に近い道を選択していくこととなる。それは地域医療への貢献や高度先進医療の実践あるいは研究者としてのアカデミズムの追求などである。これらの基礎となる臨床能力を十分に養うため、そして研修医の意見も取り入れて、分野横断的な教育・研修を推進していく。さらに、このような研修を通して、人格を養い、技量を習得し、さらにリーダーシップの発揮できる医療人になれることを目標とし、研修医が思い描いている「理想の医師像」に着実に近づいていくようサポートしていく。

＜研修理念＞

地域医療から国際診療までを担える視野を持ち、安心かつ良質な医療をチームと協調して提供できる総合力と人格を育む。

＜研修基本方針＞

患者の心身を預かるにふさわしい人格を育む
全人的に対応できる総合力を育む
チーム医療を実践する統率力を育む

地域医療と共に国際診療を担う広い視野を育む
生涯にわたり、学び続ける気概と探求心を育む

—実績—

上記、目標を目指しての研修医教育や環境等が十分に研修に値するとして、外部評価機関である卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定を受けている。

学会発表はCOVID-19による影響もありこれまでより少なかったが、積極的にWEB講演会に参加し学会活動を行った。初期研修医救急外来教育指針を策定し、ステップごとに目標を設定し計画的に臨床経験・学習をした。

—今年度の成果と反省点—

- 研修医カンファレンス
スライドを使用した症例発表会を1回/月の頻度で開催
- クリニカルレベルアップセミナー
COVID-19による影響があり、開業医の先生方の参加を募っていることから開催できなかった
- 反省点
COVID-19の流行により講義形式のレクチャーや医学英会話が中止となり、教育の場が少なくなった。

—来年度への抱負—

- 初期研修医ワーキンググループによりCOVID-19禍でもできる限りの有意義な研修教育を行う
 - 座学: 週1-2回とし、2年目初期研修医や後期研修医によるレクチャー
 - 手技の実習
サザンウイズでシミュレーション機器を利用: 採血、気管挿管、縫合など
 - 医療英会話
国際診療科との合同研修として開催
 - 教育指針に則り、救急外来での研修に対し計画的に目標をたて実習ならびにその評価をしていく

第643回大阪外科集談会にてセンター藤本医師が優秀演説賞を受賞しました。

令和4年7月16日(土)に大阪うらさい病院にて開催されました第643回大阪外科集談会にて、当センター給合医療センター初期研修医の藤本凜太郎先生が発表が、特に優れていたとして優秀演説賞を受賞しました。自説より研修に適度された結果としての榮光ある受賞です。ここにご報告いたします。

【ご本人より】

ひらく給合医療センター研修医1年目の藤本凜太郎です。

この度は第643回大阪外科集談会にて優秀演説賞を受ける非常に光栄です。

発表の機会はまだない私がこのような結果を残せたのは、先生方のサポートがあったからこそと思っております。

この経験をいかし、今後も研修生活に励ませていただきます。



藤本凜太郎医師が第643回大阪外科集談会にて優秀演説賞を受賞しました。